

令和7年度 第2回 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会

【目次】

名豊道路の渋滞対策について……………	2
--------------------	---

令和8年3月26日（木）

愛知県道路交通渋滞対策推進協議会 事務局

名豊道路の渋滞対策について

令和8年3月26日

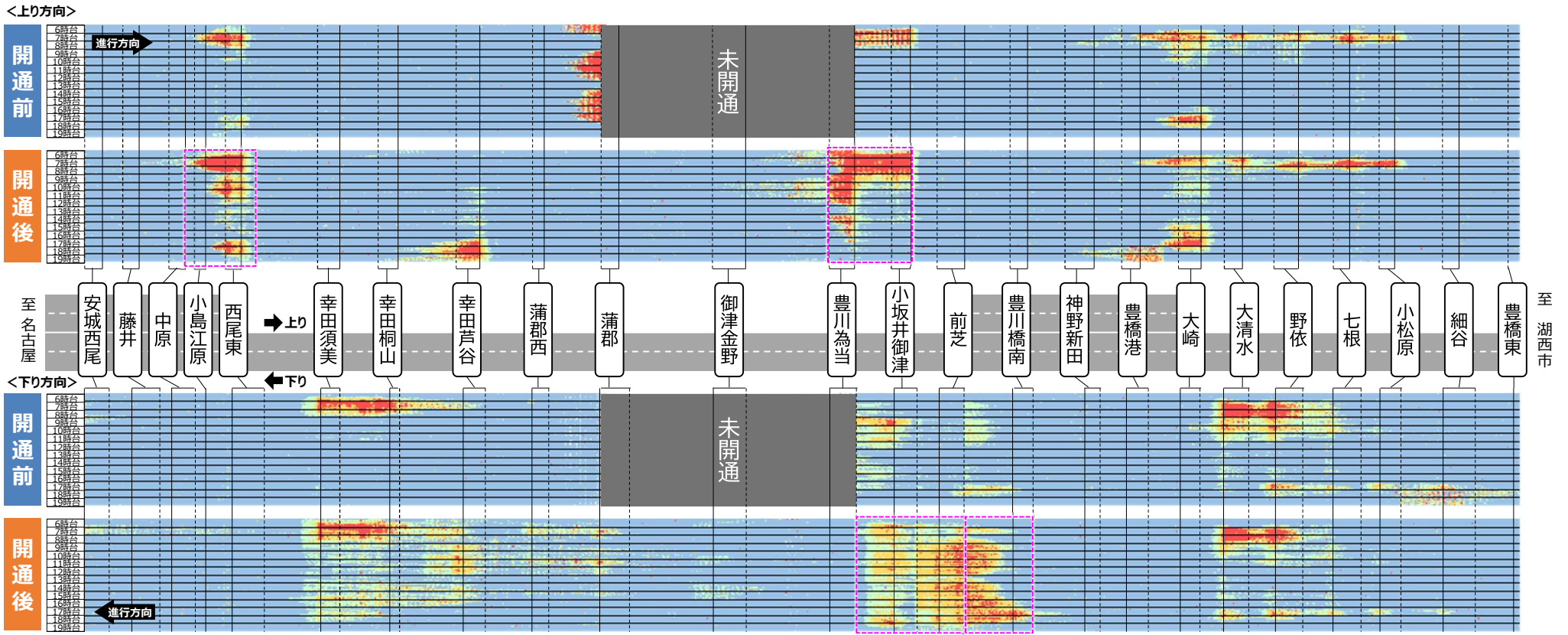
1. 昨年度までに実施した渋滞対策及び効果

(1) 国道23号：名豊道路事業 蒲郡バイパス（実施主体：国土交通省）：令和7年3月8日開通

- 名豊道路本線においては、蒲郡バイパスの端末部となっていた蒲郡ICにおいて、本線が開通したことにより速度低下が解消した一方、本線利用交通量が増加したことにより、オンランプ合流部や車線減少部で新たに速度低下が発生。
- 速度低下が顕著な課題箇所について、交通状況のモニタリングを行い、関係市町と連携して対策立案。

名豊道路の速度状況

■ 開通前後の平均速度



：速度低下が顕著な課題箇所

実線 ——：オンランプ位置 破線 - - - -：オフランプ位置

■ 20km/h未満 ■ 20～30km/h ■ 30～40km/h ■ 40km/h以上

出典：ETC2.0データ（開通前：R6年5月13日～17日 平均、開通後：R7年5月12日～16日 平均）50mピッチ・10分間隔で集計

2. 今年度に実施した渋滞対策及び効果

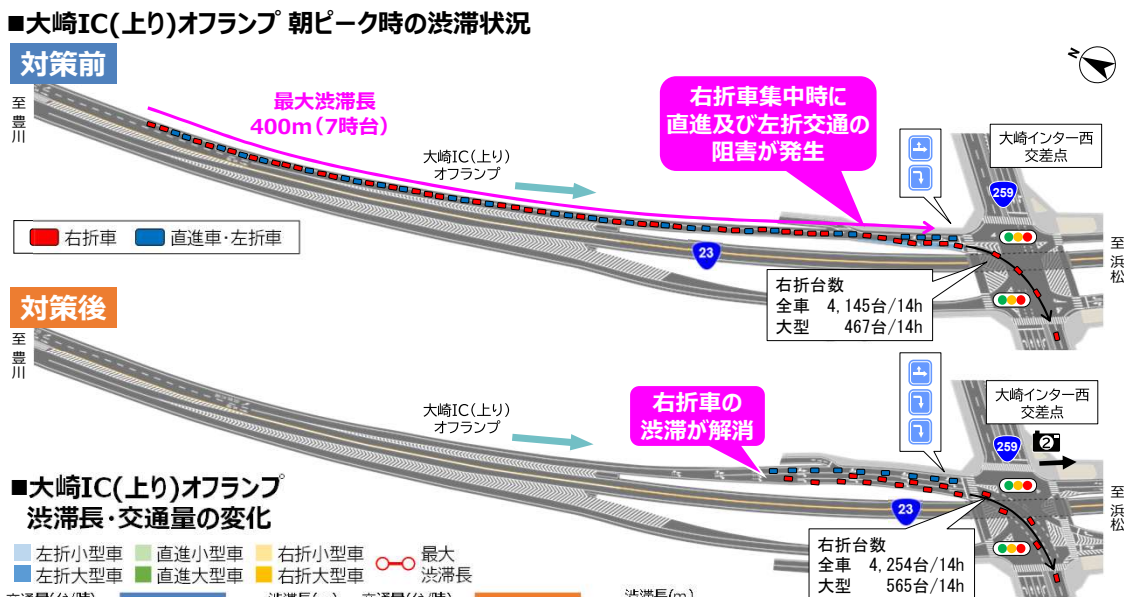
(2) 一般国道23号 豊橋バイパス：大崎ICオフランプ 車線増設（実施主体：国土交通省）：令和7年12月施工完了

- 大崎IC上りオフランプ部では、朝ピーク時に右折車の集中による渋滞・滞留が発生し本線上まで延伸。
- 対策として、上りオフランプを拡幅し、右折車線の2車線化及び延伸により、右折車の捌け台数を増加させるとともに、滞留スペースを確保。対策により、右折車両による最大400mの渋滞長が解消。
- 朝ピーク時の渋滞は解消したものの、夕ピーク時間帯は大崎インター東交差点を先頭とした先詰まりが発生していることから、引き続き大崎インター東交差点の対策を検討する。

位置図



効果検証

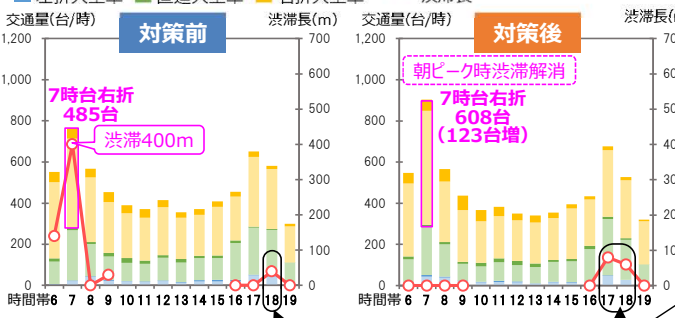


対策概要

- ・ 大崎IC上りオフランプを拡幅し、右折車線の2車線化及び延伸し、右折車の捌け台数を増加させるとともに滞留スペースを確保。
- ・ 同時に、大崎インター東交差点 国道23号上り流入部で、右折車線を延伸



■夕ピーク時の渋滞状況



引き続き 大崎インター東交差点の対策を検討

夕ピーク時：大崎インター東交差点を先頭とした滞留が大崎インター西交差点まで影響

出典：交通状況調査結果 (対策前：R7年4月15日(火)、対策後：R8年1月22日(木)) 6:00~20:00調査

3. 今後の取り組み予定

(3) 国道23号：名豊道路 岡崎バイパス 西尾東IC 車線運用の変更・合流部対策（検討主体：国土交通省）

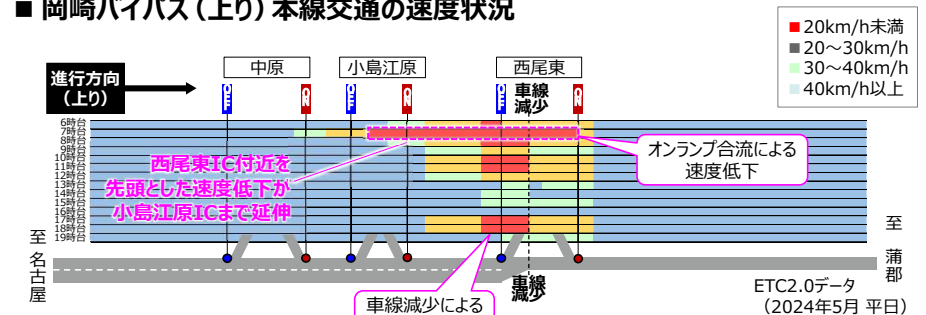
- 岡崎バイパス（上り）西尾東ICでは、車線減少部やオンランプ合流部において、合流車両による速度低下が発生。
- 対策として、車線減少部では、第1走行車線はオンランプ行き・第2走行車線は本線行きの車線運用に変更し、ランプ交通と本線交通の機能分化を図り、オンランプ合流部では、ラバーボールの設置や注意喚起看板を設置し、ファスナー合流を促すことで、交通流の改善につなげる。対策工事はR 8年度に実施予定。

位置図



現状の課題

■ 岡崎バイパス（上り）本線交通の速度状況



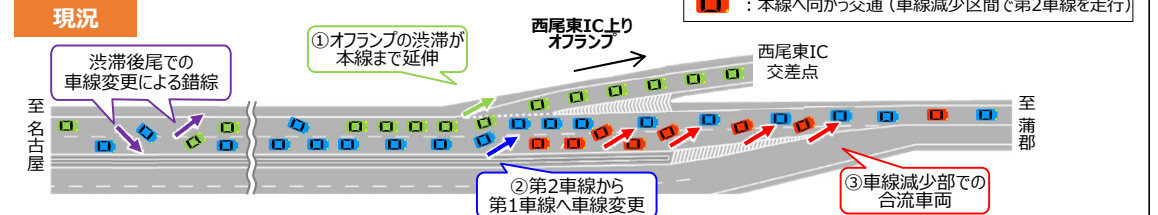
撮影日：2025年8月5日（火）11時台



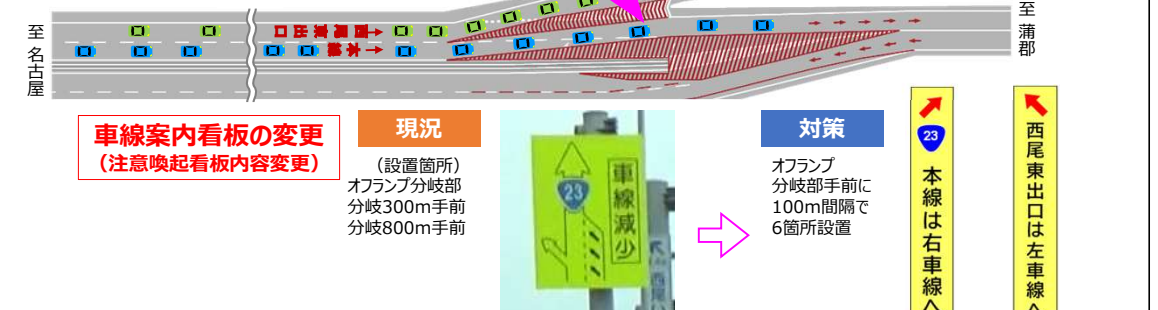
撮影日：2025年4月22日（火）10時台

対策概要

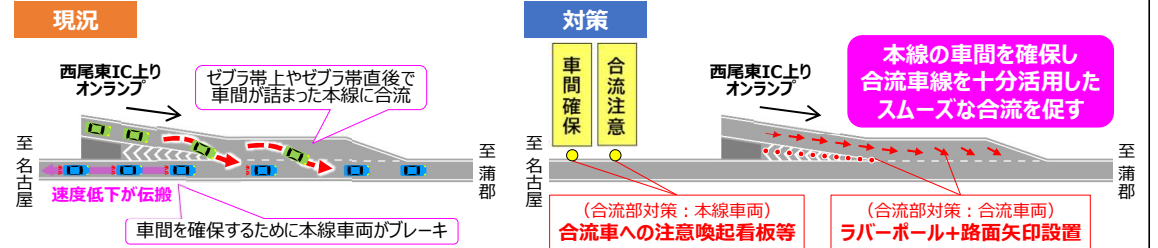
対策①：本線交通運用の変更



対策②：オンランプ合流部対策



対策③：車線案内看板の変更



3. 今後の取り組み予定

(6) 国道23号：名豊道路 豊橋バイパス 前芝IC 車線減少部対策・信号現示見直し（検討主体：国土交通省・愛知県警察）

- 豊橋バイパス（下り）では、本線車線減少部において、本線交通が第2車線に集中、2車線区間で上り勾配により速度低下が発生。
- 対策として、車線減少部ではラバーポールを追加設置、上り勾配部では速度回復を促す案内看板を設置するとともに、既設の案内看板を更新し、利用経路の転換を促す。令和8年度に実施予定。
- 前芝IC下りオフランプでは、右折交通集中時に本線上（第1車線）に速度低下が発生し、国道247号では、前芝IC上りオンランプへ向かう左折交通の渋滞が発生。
- 対策として、豊川橋北交差点の信号サイクルを調整。令和8年度の実施に向け調整中。

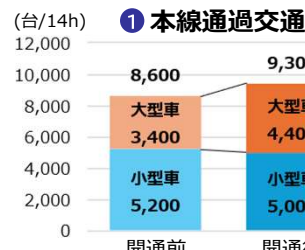
位置図



現況の課題

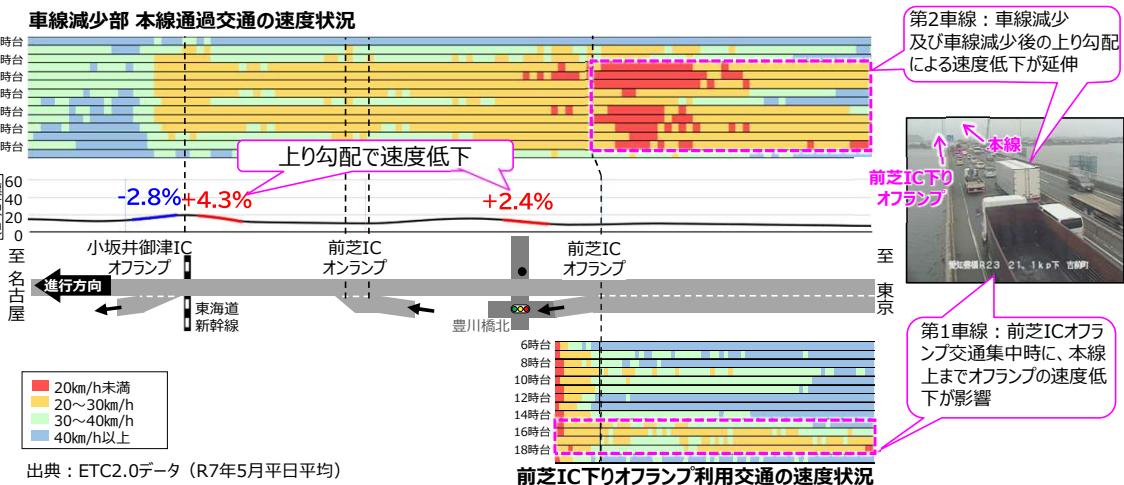
■ 名豊道路全線開通による交通量変化

- ・ 名豊道路全線開通により、前芝ICオフランプ直進交通は減少したが、本線通過交通は増加。
- ・ また、東名豊川IC方面⇄豊橋バイパス方向（③④）は名豊道路全線開通前より利用が多い。



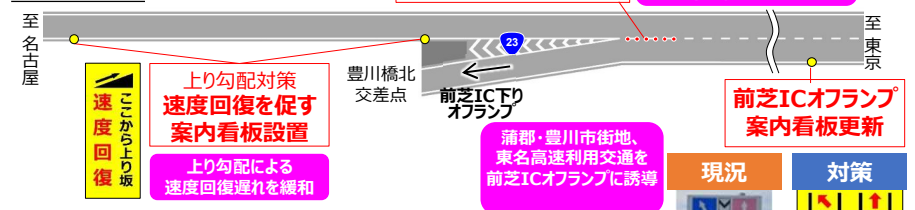
出典：交通量調査結果・トランカ交通量より算出 開通前：R7年3月4日(火)、開通後：R7年5月13日(火) 6:00~20:00交通量

■ 豊橋バイパス（下り）の速度状況・交通状況



対策概要

本線の対策



豊川橋北交差点（前芝ICオフランプ交通）への対策を検討

豊川橋北交差点 信号サイクル調整（案）

豊川橋北交差点信号現示	1Φ			2Φ			3Φ			4Φ		
	G	Y	AR	G	Y	AR	G	Y	AR	G	Y	AR
対策前	71	4	5	16	2	5	28	4	0	8	2	5
対策後	66	4	5	19	2	5	30	4	0	8	2	5

下りオフランプ直進交通が減少したことから、1Φの青時間を減少させ、渋滞が発生しているオフランプ右折交通（2Φ）・オンランプへの左折交通（2Φ、3Φ）の青時間を増加